

ドクター和の
ニッポン



臨終回巻

4月28日のマツダスタジアムの広島カープVS阪神タイガース戦は、野球解説者で元プロ野球選手の衣笠祥雄さんの追悼試合として行われました。7対5で広島が勝利。赤いユニホームを着たファンの中には、広島時代の衣笠さんの背番号で永久欠番となつた「3」を掲げながら黙禱（もくとう）を捧げていた人も多くいました。

いかにこの方が愛され続けた存在だったかを感じました。

享年71。今年1月に70歳で亡くなった星野仙一さんの後を追うように、昭和のスター選手がまた一人、逝きました。

死因は大腸（上行結腸）がんとのことで

の広島カープVS阪神タイガース戦は、野球解説者で元プロ野球選手の衣笠祥雄さんの追悼試合として行われました。7対5で広島が勝利。赤いユニホームを着たファンの中には、広島時代の衣笠さんの背番号で永久欠番となつた「3」を掲げながら黙禱（もくとう）を捧げていた人も多くいました。

いかにこの方が愛され続けた存在だったかを感じました。

享年71。今年1月に70歳で亡くなった星野仙一さんの後を追うように、昭和のスター選手がまた一人、逝きました。

死因は大腸（上行結腸）がんとのことで

す。大腸がんとくなつた人の訴報を聞くたびに、「悔しいなあ。早期発見すれば治つたかもしないのに」と医者としてはつい思つてしまします。

日本人で現在、もっとも罹患率（りかん）率が高いのが、大腸がん。この20年で約2倍にも増えています。

増加の理由としては、もちろん高齢化もありますが、食生活

が酸化し、二次胆汁酸になる膜に悪さをすることがわかつています。

最近は糖質制限ダイエットブームも手伝つて、「ごはんはNGだけど、お肉ならいくら食べてもOK」という風潮が続いています。でも、さらにこの国の大腸がんが増えるのではと心配です。どうかバランス良い食事を心がけてください。

大腸がんは早期発見されれば怖くありません。そのためには、40歳を過ぎたら大腸がん検診（便潜血検査）を毎年受ける

ことが大切です。もし陽性と言わいたら、必ず内視鏡専門医による大腸内視鏡検査を受けま

す。肉や脂肪を消化するためには、肝臓から胆汁というものが大量に分泌されます。この胆汁が酸化し、二次胆汁酸になる膜に悪さをすることがわかつています。

S字結腸や直腸に比べて、衣笠さんが罹患した上行結腸がんは大腸の奥にあるため比較的見つけにくい部位です。それで、も、手術をすれば根治可能。リンパ節に転移しているステージ3で7割以上の人気が、最も進行した状態のステージ4であつても2割弱の方が5年以上生存し完治例もあります。

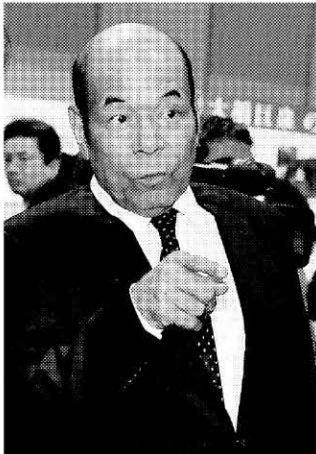
腸がんでも、昨今は腹腔鏡手術が可能となり、入院期間も1週間くらいで済むようになりました。このように、大腸がんは「治療を諦めないでほしい」がんのひとつだと思っています。だからこそ、衣笠さんの死は悔しい。

衣笠さんは周囲に闘病を隠していました。声がかからずながらも、亡くなる4日前まで野球解説の仕事をこなしました。何があつても弱音を吐かない鉄人ぶりは、最期まで健

在でした。

53

衣笠祥雄



鉄人は最期まで健在

衣笠さんは周囲に闘病を隠していました。声がかからずながらも、亡くなる4日前まで野球解説の仕事をこなしました。何があつても弱音を吐かない鉄人ぶりは、最期まで健在でした。